

.....自然と人が共生するために.....

水を守ること、それは生命^{いのち}を守ること

グリーンコープは せっけんをすすめています

地球の表面積の約7割は水に覆われていますが、そのほとんどが海水で、私たち人間が使える水はわずか0.03%といわれています。人間は、この貴重な水と共に文明社会を築いてきました。

しかし今、便利さや経済効率優先の社会の中で、豊かさを追い求めるあまり、私たちの暮らし方が環境破壊を引きおこしたり、生態系のバランスを崩す要因をつくっています。

**家庭から流れ出た水は、
巡りめぐってやがて私たちのもとに還ってきます**

水は循環しています。自然の営みを破壊することなく自然のサイクルの中で共存していけるような生活を心がけましょう。

私たちの口に入る食べものや飲み水と同じように、家庭から流している水についても考えてみませんか。

未来の子どもたちにきれいな環境を手渡すために

みんなでせっけんを使いましょう!

やっぱり せっけん!!

せっけんの安全性は歴史が証明しています

紀元前3000年頃の古代ローマでは、羊を焼いて神に供える風習がありました。焼いた羊から滴り落ちた脂と薪の灰が混ざると汚れを落とす不思議な土ができたということで、これがせっけんのはじまりと言われています。せっけんは自然界の中で生み出され、今もずっと使い続けられていて、人にも環境にもやさしい洗剤です。



水環境の悪化に伴って私たちの水を守るため せっけん運動がはじまりました

第一次世界大戦中、油脂が不足したドイツで石炭を原料に作りだされたのが合成洗剤のはじまりです。日本では第二次世界大戦後にアメリカから入ってきて、1960年代の洗濯機の普及とともにその生産量が増えてきました。しかし、ABSという界面活性剤を主成分とする合成洗剤は、いつまでも界面活性作用を失わないために泡がなかなか消えず、泡公害を発生させ社会問題となりました。また、合成洗剤に

使用されている助剤を含めた化学物質の蓄積による水環境や水生生物への影響が疑われます。

合成洗剤によるこのような水環境の汚染を防ぐために、全国の消費者によるせっけん運動がスタートしました。



グリーンコープの「せっけん運動」

グリーンコープは、1988年に九州を中心にした
せっけん派の生協が1つになり誕生しました。

誕生当初よりグリーンコープは、人への安全性や環境
を守り、未来の子どもたちにきれいな水環境を手渡して
いきたいと考え、合成洗剤ではなくせっけんを使ってい
くことを伝え、ずっと「せっけん運動」を続けています。
合成洗剤の毒性や危険性については、専門家によるさま
ざまな論があり変化していく中、グリーンコープは、「**疑
わしいもの、よくわからないもの、はっきりしないものは
使わない**」という予防原則を大切にしています。

ひとりでも多くの人々がせっけんのよさを知り、せっけ
んを使い続けていけるように、組合員一人ひとりが自分
の言葉で伝え、せっけん運動をすすめていきます。

疑わしいもの

よくわからないもの

はっきりしないもの

使いません!!



みんなで楽しいせっけんライフをおくりましょう!

せっけんは環境にも体にもやさしく、洗う成分のほかに余計なものをいれないシンプルな洗剤です。

子どもたちの未来のために水環境を守るにはせっけんが一番!

「せっけんに切り替えてよかった」

子どもの頃からアトピー性皮膚炎で、湿疹やかゆみが常にありました。このままずっとこの状態が続くのかと諦めかけていた時にせっけんに出会いました。まず、赤みやかゆみがなくなり、指のパッキリ割れも治りました。せっけんを使っている今が一番肌がキレイです。



「ドラム式でも使っています!!」

スイッチを押す前に、せっけんをバラバラと洗濯物に振りかけただけでOK!簡単おすすめ。

※せっけんは、洗剤投入口に入ると固まることがあるので入れないでください。



朝起きてから寝るまで、洗うことは私たちの生活そのものです。

水はいのちの源です。

せっけんできれいな水を守りましょう。

子どもたちに残したい未来をつくっていくために、

生活のすべての場面にせっけんを使いましょう。

「水はめぐる」



グリーンコープ × SDGs

SDGsとは、国連が2015年に採択した
「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」
にまとめられた17の目標。
グリーンコープが^{いのち}生命を大切に思い、
ずっと取り組んできた運動と目指すところは同じです。
当たり前すぎて気づかなかったけれど、
実は、30年前からSDGsを実践しています。

グリーンコープ共同体